



令和八年

片山定期能 四月公演

令和8年4月12日(日) 午前11時開演[午前10時30分開演]
於／京都観世会館 主催／片山定期能楽会

(能)菊慈童／浅井 風矢

(狂言)悪坊／茂山 忠三郎

(能)知章／味方 梓

(能)野守_{白頭}／味方 玄

ほか



No.76-2

11:00 能 菊慈童

—きくじどう—

シテ／慈童
ワキ／勅使

浅井 風矢
有松 遼一

笛 左鴻 泰弘
小鼓 曾和 鼓堂
大鼓 石井 景之
太鼓 井上 敬介

地謡 青木 道喜
古橋 正邦
河村 博重
田茂井 廣道
深野 貴彦
河村 和貴
宮川 卓也
青木真由人

後見 片山九郎右衛門
橋本 忠樹

11:45 狂言 悪坊 (大蔵流) —あくぼう—

シテ／悪坊
アド／僧
アド／宿の亭主

茂山忠三郎
茂山千三郎
山口 耕道

後見 黒川 亮

休憩20分

12:30 能 知章

—ともあきら—

前シテ／里の男
後シテ／平知章の霊
ワキ／旅僧
アイ／所の者

味方 梓
岡 充
茂山千三郎

笛 森田 保美
小鼓 吉阪 倫平
大鼓 河村凜太郎

地謡 片山 伸吾
分林 道治
田茂井 廣道
橋本 忠樹
河村 和貴
大江 広祐
宮川 卓也
片山 峻佑

後見 大江 信行
谷 弘之助

13:45 仕舞 歌占 キリ —うたうら・きりー

シテ／渡會何某

杉浦 豊彦

仕舞 善知鳥

シテ／獵師の霊

—うとう—

片山九郎右衛門

地謡 武田 邦弘
橋本 礪道
古橋 正邦
河村 博重
浅井 風矢

休憩10分

14:05 能 野守 白頭 —のもり・しろがしら—

前シテ／野守の翁
後シテ／鬼神
ワキ／山伏
アイ／春日の里人

味方 玄
江崎欽次郎
山本 善之

笛 杉 信太郎
小鼓 吉阪 一郎
大鼓 谷口 正壽
太鼓 前川 光範

地謡 片山九郎右衛門
古橋 正邦
分林 道治
大江 信行
深野 貴彦
谷 弘之助
片山 峻佑
青木真由人

後見 青木 道喜
大江 広祐

15:20頃 終了予定

演目解説

郡縣山の麓から薬水が流れ出るという噂を聞いた魏の文帝が、臣下にその水源を見て参れとの勅命を出す。臣下がやがて郡縣山に着くと、山奥の菊の咲き乱れた仙境に、慈童という仙人が現れた。慈童は、自分は太古の周の穆王に仕えていた者だと答える。臣下は、何故七百年も昔の者が未だに生きているのかと問うと、二句の偈を書いた枕を見せ、これは穆王から賜ったものであるが、この法華經の妙文を菊の葉に書いておくと、葉から滴るしずくが不老不死の薬となるという。それ故慈童は年をとらなかったのであった。慈童は臣下の前で楽しげに楽を舞い、帝に七百歳の長寿を捧げて祝福の言葉を述べ、菊をかき分けて仙家へと帰って行く。観世流以外の四流においては、本曲を「枕慈童」と称する。観世流にも「枕慈童」と称する曲目があるが、これは別作品である。

能 菊慈童

上演時間：約45分

狂言 悪坊

上演時間：約25分

能 知章

上演時間：約1時間15分

筑紫の旅僧が須磨の浦で平知章の卒塔婆を見つけ供養をしていると、一人の男が現れる。僧は卒塔婆に書かれた平知章という方が平家の御一門の中でどういう方なのか知らず、気の毒に思い回向をしていたと言うと、男は知章とは平知盛の三男で、如月七日の合戦にて一の谷で討たれたと答え、今日がその命日であるが故、殊更僧の回向に感謝する。男はさらに知盛を助けた「井上黒」という名馬の話をし、姿を消す。やがて里人から知章の詳しい話を聞いた僧が供養を行うと、甲冑姿の知章の幽霊が姿を現す。霊は、子を見殺しにして失った知盛の悲しみや、自らの最期の様子を語り、更なる供養を頼み消え失せる。源平の戦いの中で起こった二つの悲劇。父と子、そして主人と馬。対極にあるそれぞれの想いが溢れる修羅能である。

能 野守

上演時間：約1時間15分

旅の山伏が大和の御蓋山の麓に広がる春日野に着くと、鏡のように美しい池があり、しばし足を止めて見とれていると、春日野の番人の老人が現れる。山伏がこの池水の謂れを尋ねると、老人は「私のような野守が姿を映すので、この水を『野守の鏡』と呼びますが、本当の野守の鏡というものは、昔この野に住む鬼が持っていた鏡のことです」と答える。その鬼は昼は野守の姿となり、夜に鬼の姿となるのだという。さらに昔、帝の鷹狩りの折、鷹の行方を見失った時に、野守が指し示したこの池水に鷹の姿が映ったという歌物語をする。山伏が「是非とも本物の野守の鏡を見たい」と言う、老人は「鬼神の持つ鏡を見れば恐ろしいことであろうから、この水鏡をご覧なさい」と言って、鬼が住んでいたという塚に姿を消す。やがて山伏が塚に向かって一心に祈っていると、鬼神が鏡を持って現れ、天上界から地獄の底まで隈なく映して見せ、これを山伏に与えて大地を踏み破って、再び地獄の底にと去って行く。奈良の春日大社の近くに広がる春日野・飛火野は、万葉の昔、貴族達が鷹狩りを楽しんだところで、野守の翁が姿を映したであろう池水や、見失った鷹がその水底に映ったという夜井『鷹の井』が今も残る。この曲はいわゆる鬼の能ではあるが、単に強く恐ろしいものではなく、鏡という不思議な力を宿すものを通して、神秘性に富んだ面白い構成となっている。

次回公演の御案内

片山定期能7月公演

令和8年7月26日(日)

午前11時開演

[午前10時30分開場]

能 「雨 月」

片山 伸吾

狂言 「口真似」

茂山あきら

能 「半 蔵」

青木 道喜

能 「阿 漕」

分林 道治

入場料

[全席自由]

一般前売 4,000円

一般当日 4,500円

学生 2,000円

回数券 17,000円

(五枚綴)

チケット取扱所

京都観世会館

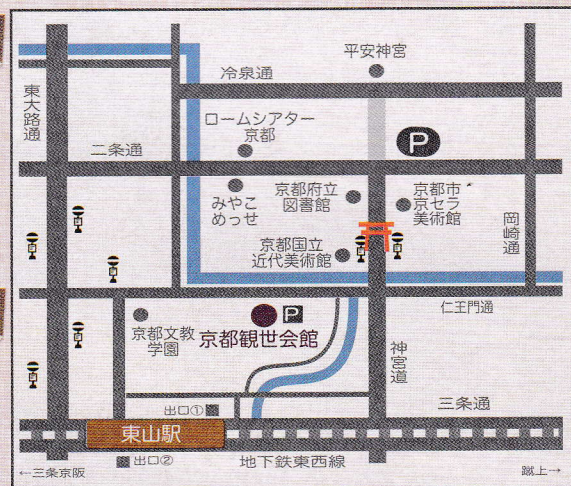
075-771-6114

9:00~17:00 月休

片山定期能楽会事務局

075-551-6535

10:00~17:00 土日休



会場／京都観世会館

京都市営地下鉄東西線「東山」駅下車 徒歩約7分

▽出演者等の変更がある場合は御了承くださいませ。
▽見所内での写真撮影・録画・録音は固くお断り致します(指定業者を除く)。
▽同じく見所内での携帯電話やスマートフォンは、必ず電源をお切り頂きますようお願い申し上げます。
マナーモードも御遠慮くださいませ。



通話禁止
NO CALL
禁止通話
禁止通話
禁止通話
PANGILAN DILARANG



撮影禁止
NO PHOTOGRAPHY
禁止撮影
禁止撮影
禁止撮影
FOTOGRAFI DILARANG



飲食禁止
NO FOOD OR DRINK
没有食物或饮料
没有食物或饮料
没有食物或饮料
JANGAN MAKAN ATAU MINUM